

令和7年度

■最上位目標■

上陽小学校の経営構想



夢×未来＝自立

インクルーシブ教育の推進を目指す「未来の学校創り」
－「関わるからこそ学べる」授業創りを通して－

目指す学校像

- ・児童の心理的安全性を保障し居場所を確保できる学校（インクルーシブ）
- ・SDG's や Well-being な社会を見据え、児童と未来をつなげ、挑戦する学校
- ・児童がエージェンシーを発揮し、主体的に夢や未来に向かって挑戦できる学校
- ・変化に組織で素早く対応できる学校

目指す児童像

- ・「未来」に思いを馳せ「なりたい自分や夢」に向かって「情熱や意欲をもって、粘り強く挑戦し、自ら選択したり、動き出したりする児童」
- ・自分で考えて、自分で決めて自分から動き出す児童

目指す教職員像

- ・「関わるからこそ学べる」児童主役の授業」を創造できる教師〈授業力〉
- ・児童一人一人がエージェンシーを発揮し「自立」できるように支援できる教職員〈ファシリテーション力〉
- ・未来の児童の姿に思いを馳せ、挑戦し、常にアップデートできる教職員〈向上力〉
- ・児童や保護者の多様なニーズに「チーム」で対応できる自立分散型の教職員集団〈新しい組織力〉

未来の学校創り

子供も教師も
「創り手」
当事者意識の醸成

見えない学力
(非認知能力)

最上位目標を具現化するキーワード

- ①居場所づくり（インクルーシブ）
- ②当事者意識（エージェンシー）
- ③自分で決める力（自己決定力）
- ④ブロックチーム担任制（チームで対応する力）
- ⑤自立分散型の学習モデル（自律した学習者）

見える学力
(認知能力)

- STEAM教育を意識した総合的な学習の時間や生活科等における探究課題の設定及びリーダー、サブリーダーを意識したブロック校外学習の実施
- ・低学年探究課題 「夢をつくる」
- ・中学年探究課題 「ここをつくる」
- ・高学年探究課題 「未来をつくる」
- 自分らしく表現できる力の育成
- ・全校ビブリオバトルの実施
- ・児童主体の学校行事・集会活動の実施
- ・児童主体の「6年生を送る会」の実施

自立

○自由進度学習の推進

- ・AI型学習ソフト（Qubena）と連携した自由進度学習を取り入れた「自立した学び」の推進
- ・モジュール学習の実施（15分×3朝の時間を活用）
- 英語特区による外国語活動の推進
- ・英語専科とALTによる授業づくり
- ・フェリーチェ玉村国際小学校との交流、スプリングコンテストへの参加
- 専門性を生かした教科担任制の推進
- ・英語専科、道徳専科、ブロック内における交換授業の実施

インクルーシブ教育の推進

学級や学年の枠組みをできるだけ緩やかにする
通常学級、支援学級、YUMEルームは段差のないフラットな居場所

○ブロックチーム担任制（複数担任制）

- ・学級、学年の枠組みをシームレスに
- 道徳を核にした未来の学校創りの推進
- ・全校「どうとく」の実施
- ・課題解決への情熱や意欲、粘り強さの醸成
- ・道徳的価値の全校共有
- ・道徳専科の導入（道徳通信の発行）

○YUMEルームの新設（心を整える居場所）

- ・児童の状況に応じて居場所を組み替える柔軟な対応（Yourあなた、Uniqueらしい、Mind心を、Expands広げよう）
- 伊勢崎特別支援学校との交流及び共同学習
- ・STEAM教育を核にした交流及び共同学習

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す！

子供たち一人一人がエージェンシーを発揮する自律した学習者へ「群馬県教育ビジョン 2024年～2029年」